

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所特定原子力施設
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備のキャスク支持架台等に関する面談

2. 日時：令和4年4月21日（木） 14時00分～15時45分

3. 場所：—（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、川下企画調査官、

丸山主任原子力専門検査官、福富主任原子力専門検査官

馬場原子力専門検査官、佐藤原子力専門検査官、

山中原子力専門検査官

東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

プール燃料取り出しプログラム部5・6号燃料取り出しPJグループ担当
他2名

機械部共用機械設備グループ担当 他9名

プール燃料取り出しプログラム部2号構台設置PJグループ担当 他1名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス（株）から、以下について説明を行いたい旨の申
出があり、面談を行った。

- ・使用済燃料乾式キャスク仮保管設備のキャスク支持架台の寸法測定方法の
変更
- ・放射性物質分析・研究施設第1棟の設備に係る確認事項
- ・2号機燃料取り出し用構台の設備概要

○東京電力ホールディングス（株）から、資料に基づき、以下の説明を受けた。

- ・使用済燃料乾式キャスク仮保管設備のキャスク支持架台の寸法測定方法に
関し、使用前検査要領書（社内検査）と寸法検査の計測方法が異なってい
たことから、要領書を改訂すること
- ・放射性物質分析・研究施設第1棟の換気空調設備の風量見直しによる実施
計画変更内容及び具体的な確認方法について
- ・2号機燃料取り出し用構台の設置場所、構造、主要部材、工程等について

○原子力規制庁は、今回の説明を受け、以下について伝えた。

- ・使用済燃料乾式キャスク仮保管設備のキャスク支持架台の寸法測定方法の変更については、関連する不適合については是正措置を適切に実施すること
- ・放射性物質分析・研究施設第1棟の設備に係る確認事項については、今回の説明を受け、今後の原子力規制庁の検査計画に反映すること
- ・2号機燃料取り出し用構台の設備概要については、必要に応じて情報を提供すること

6. その他

資料：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用前検査（社内検査）における一部記録の計測方法不一致に伴う要領書の改訂について
放射性物質分析・研究施設第1棟の設備に係る確認事項について
2号機燃料取り出し用構台の設置について 燃料取り出し用構台 概要
説明資料